

就労継続支援 A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

| | |
|------|------------------|
| 事業所名 | なごみ |
| 住 所 | 岡山県岡山市中区倉田264-13 |
| 電話番号 | (086) 200-0753 |

| | |
|-------|------------|
| 事業所番号 | 3310102185 |
| 管理者名 | 大林 保之 |
| 対象年度 | 2020年度 |

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所 藤クリーン（株）リサイクルセンター
岡山県岡山市南区藤田1664-8
実施日程 2020年 4月 1日～2021年 3月31日
活動内容 産業廃棄物の解体・分別業務
利用者数 等 利用者3名 職員1名で週3日

<目的>

施設外就労を通じ、A型事業所から一般社会への仲間入りをする事で、社会の厳しさを肌で感じ、社会のルールを身に付け、人間的成长が期待できる。現代の社会は、循環型社会であり“ゼロ・エミッション”を目標にゴミを出さない社会、産業廃棄物やゴミを新しい価値あるものへ再利用する事が加速されている。この一端を担わせて頂ける産業廃棄物の解体/分別作業は、社会/地域に貢献しているという評価を実感でき、就労の継続また、一般就労への意欲の向上に繋がる。

<実施した結果>

就労先様からの指示を受け、指導員が各利用者に作業内容を説明し、解体作業（例1.2）を進める。解体方法、廃棄物の材質などどのように分別するか十分把握した上で（例3.4）の様に完成に繋げる事が出来た。

<得られた成果>

就労先様での作業内容はもちろんのこと、挨拶などの礼儀・身だしなみ・作業に対する取組み姿勢など人間、社会人としての成長が見られる様になっている。

<課題点>

多種多様な廃棄物があり、知識/経験/考察力/スピード不足が課題。

<活動の様子>



連携先の企業等の意見または評価

弊社社員3名と共に、多種多様な複合建材等の分解作業に就いてもらっています。複合物の構造等により、単純な工程で分解できるものから、数種の工具を用いて分解・分別に至るものもあります。日々の作業の難易度に差異がある中で、指示・指導に従って真面目に作業していくています。弊社においてリサイクル率向上は重要な課題であり、その一端を担っていただいていると思ひます。
作業以外では、出退社時に大きな声であいさつをしてくる点に好感を持てますし、昼休みに弊社社員と話している所を見ても、慣ら親しみをもろえているのが伺えます。

| | | | |
|--------|-----------|------|------|
| 連携先企業名 | 藤クリーン株式会社 | 担当者名 | 名越宏幸 |
|--------|-----------|------|------|